

生ごみで堆肥づくり

【私立学校用】

作られた土は、GREEN×EXPO 2027の花壇で活用します！
みんなの力で、すてきな花を咲かせましょう

< 事業の流れ > ※以下1～7は、本事業に参加いただいた場合の流れになります。

● 現在企画段階の内容を含むため、詳細については今後変更となる場合がありますので、ご了承ください。

回答期日:6月19日

1 横浜市電子システムに参加登録

参加校を把握させていただくため、横浜市電子システムへの登録をお願いします。



URLは[こちら](#)をクリック

5月～6月頃 ※参加回答いただいた学校のみ

2 市から実施のための物品をお届け

No.	物品	数	備考
1	深型プランター(16ℓ)	1個	校内の花壇等でも実践可能です。土は、花壇の土そのまま使えます。
2	黒土(14ℓ)	1袋	
3	段ボール(120サイズ)	1個	回収用。
4	回収用袋(バイオマス素材)	10枚	1袋の上限量:5kg。予備含む
5	土壌混合法の実施手順書	3部	No.5～8は、封筒に入れてお渡します。
6	こども向け案内チラシ	3枚	
7	土壌混合法の紹介冊子	3部	
8	GREEN×EXPO 2027シール	2枚	学校内での取組の周知にご活用ください

物品到着後～8月頃

3 土壌混合法(たい肥づくり)を実践

< 横浜市ホームページ「学校ブレん土 プロジェクト(私立学校向け)」>
URLは[こちら](#)をクリック

・実施方法については、上記に加えて子ども向けの案内チラシも併せてご覧ください。子ども向けのやり方の紹介動画も掲載しています。

・資源循環局の収集事務所職員・区による出前教室も実施可能です。お気軽にお問い合わせください。

授業や委員会、課外活動など、適宜、取り組みやすいかたちで実施してください。

取
組
例

・生活科、総合的な学習の時間、社会科等の学習との関連
・生徒会活動、委員会活動、部活動等
※夏休みの自由研究等で家庭で取り組み、学校で回収することも可能です。

学校向け！
やり方動画



9月上旬頃

4 できた土(たい肥)を梱包

1校あたり最大10kgを回収します。(少量でも問題ございません。)
物品No.4「回収用袋(バイオマス素材)」に、印刷されたラインを目安に、取り組んだ土(たい肥)を入れてください。

手順

- ①袋のラインまで土を入れてください。
ラインまで入れると概ね5kgですので、**最大2袋**お送りください。
(総量が5kg以内の場合は、1袋でも可)
- ②途中で土がこぼれないよう、封をしてください。
(袋は予備を含めて多めにお送りしていますので、二重にさせていただいても差し支えありません)
- ③土を入れた袋を段ボール箱に入れて、封をしてください。



9月上旬～10月上旬頃

5 業者が学校へお伺いし、梱包された土を回収

9月以降、指定の委託業者が学校に土が入った段ボールの回収にお伺いします。

委託業者の訪問(回収)予定は、業者が決定次第改めてご連絡を申し上げます。



11月頃

6 会場への搬入

各校から回収された土は、造園業者が保管し、熟成させた後、花壇へ搬入します



学校での作業はありません

3月以降

7 GREEN×EXPO 2027 会場花壇での活用

会場では、この取組を紹介する予定です。

自分たちで取り組んだ土で、たくさんの花々が育っている様子を見に行こう！



Q1 どう取り組みればいい？

少量で取り組む場合は、お送りするプランターを活用していただくことが可能です。
また、学校で使用していない花壇などがあれば、直接そこを活用して実施すると、多くの量で取り組むこともできます。

Q2 全校・全学年・全員で参加しなければいけない？

本事業は、各学校の取り組みやすい形で、実施いただくものです。
特定の学年・クラス・委員会、全員参加など、各校の実情に合わせてご検討ください。

Q3 たくさん取り組んだ場合、10kg以上の土を送っていい？

学校での取組内容に関わらず、送付は「1校につき、上限10kg」としていただきますので、実施した分の中から、10kg分のみをお送りください。

Q4 少しだけ取り組んだ場合、少量でも送っていい？

問題ありません。ぜひお送りください。

Q6 土壌混合法のやり方をもっと知りたいとき・コツを教えてくださいときは？

物品と共に、やり方紹介の冊子や子ども向け案内を同封しお送りします。やり方紹介動画がありますのでご活用ください。
(右の画像をクリックでリンク先に飛びます)

なお、収集事務所では、出張での土壌混合法のやりかたの説明やフォローアップを行っておりますので、お気軽にお声掛けください。

■各区の収集事務所

■各区の区役所地域振興課

※クリックで連絡先が出ます

Q5 会場花壇では、学校別に土が使われる？

各学校から集まった土は、全てまとめて、EXPO会場に設けられる市出展エリアの花壇に使われる予定です。
(学校別ではありません)

当該花壇の土づくりに参加して頂いた学校が分かるような広報を予定しています。

子どもたちの取組を広く世界に発信したいと思っておりますので、ぜひ多くの学校にご参加いただければと思います。

<上:紹介動画、左:冊子、右:案内チラシ>



【私立学校用】

学校ブレん土プロジェクト

生ごみを混ぜて作った土(たい肥)を、GREEN×EXPO 2027の会場の花壇で使って、たくさんの花を咲かせるプロジェクトです。

< 横浜市ホームページ「学校ブレん土 プロジェクト(私立学校向け)」 >
URLは[こちら](#)をクリック

学校の先生方のためのガイド

学校の先生方に知っていただきたい、具体的な手順や、注意事項などを記載しています。

令和8年5月版

プロジェクト(事業)のスケジュール

時期	事項
6月19日	電子申請システムで、参加登録
5月～6月頃	市から実施のための物品をお届け
物品到着後～8月頃	土壌混合法(たい肥づくり)を実践
9月頃	業者が学校へお伺いし、土を回収
11月頃	【参考】会場への搬入
令和9年3月以降	【参考】EXPO会場花壇での活用

※上記は、本事業に参加いただいた場合のスケジュールになります。

事業全体の詳細は、中面をご覧ください

たくさんのご参加をお待ちしています！